

企画・財政関係

<p>件名</p>	<p>移住給付金について</p>
<p>内容</p>	<p>都内から白井市への移住を考えています。 白井市はとても良い環境だと思ったのですが、北総線の電車代が信じられないくらい高いのがネックになっています。 電車代がここまで高額だと、車通勤出来る人以外は引越し先として選びにくくなると思いますし、人口が増えなければ電車利用者も増えないため、北総線の運賃を下げる事も出来ず発展のしようがありません。 白井市への移住の補助がないか調べたところ、白井市親元同居支援がある事が分かりましたが、親元同居といった条件のない単なる移住者(一軒家、投資目的以外のマンション購入者)に対しても補助金を出していただく事を検討していただけるとありがたいです。 ニュースで「都内から地方にテレワーク移住で100万円支給」という記事を見てテレワーク移住に限らず、人口過多の都内からの移住者に対しても補助があればと思いメールさせていただきました。ご検討よろしく願いいたします。</p>
<p>回答</p>	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。 このたびは、本市を移住先の候補地として検討していただき、ありがとうございます。 お寄せいただきました市長への手紙につきまして、回答させていただきます。 北総線の高運賃については、市の重要課題の一つとして捉えているところですが、運賃値下げに向けた特効薬はなく、北総線の利便性の向上や沿線の活性化を進めることにより、鉄道利用者と運賃収入を増加させ、鉄道会社の経営の安定化を図ることが重要であると考えております。 このことから、都心へのアクセス性の良さや、自然豊かなゆとりの環境をはじめとした市の特性を活かして、住環境、働く環境、子育て・教育環境などの充実を図り、若い世代を中心とした移住・定住を促進しているところであり、この一環として、近居・同居を目的とした移住者への経済的な支援などに取り組んでおります。 御意見にある近居・同居以外の場合の移住者への経済的な支援は現在予定しておりませんが、国において省エネ性能に優れた住宅の取得を促進すると同時に、地方への移住を促進する制度の創設が検討されていることから、市としてもその動向を注視しているところです。 (関係課：企画政策課)</p>

件 名	コロナ交付金で公園に看板を建てること（反対）について
内 容	<p>白井市議会でコロナ交付金で公園にコロナの新しい生活様式に関する看板に3000万円使う事が決まったと聞きました。</p> <p>市民は毎日テレビやラジオでコロナについてのニュースを見て聞いて情報を持っています。自粛もしています。我慢もしています。マスク、3密、手洗い、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスをやっています。なんで今更、公園に看板建てるのですか?今、コロナで困っている人はたくさんいます。失業している人、収入が減っている人、食事が3食食べられない人。そういう人たちにお金を使ってください。看板を建てることに反対です。もっとまともなことに交付金を使ってください。</p>
回 答	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。</p> <p>また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。お寄せいただきました市長への手紙につきまして、回答させていただきます。</p> <p>市では、国の交付金を活用して新型コロナウイルス感染症への対応を図るため、電話やメール等による市民からの要望、議員からの提案、関係機関との意見交換など、様々な手段を講じて必要な施策を検討し、感染症の動向に応じて、適時に必要な施策を展開しているところです。</p> <p>これまで、市民が安心して暮らすことができるよう、感染症の拡大により大きな影響を受けた市民生活と地域経済を回復することを重視し、子育て世帯をはじめとした市民生活の支援や中小企業等の事業活動の支援に取り組んできました。</p> <p>さらに、感染症の長期化を見据え、衛生資材の確保、避難所や公共施設等における感染症対策、市独自のPCR検査の実施など、感染症対策を進めてきました。</p> <p>今後は、新型コロナウイルスとの共存に向けて、感染症対策の強化に加えて、社会生活と経済活動を両立させるための「新しい生活様式」の実践を推進していくことが重要であると考えており、この視点を重視した補正予算案を編成し、令和2年第4回市議会定例会において可決されたところです。</p> <p>このたび、補正予算のうち公園の看板設置に関する御意見をいただきましたが、コロナ禍において、心身の健康を保つためには、体を動かすことや屋外でのリフレッシュも必要であり、公園は三密を避けることができる貴重な場となっております。</p> <p>このことから、「新しい生活様式」における公園利用のルールやマナーについて、イラストなどを用いて分かりやすく表示した看板を設置し、周知・啓発することにより、子どもから高齢者、障がい者など、様々な人が安全に安心して公園を利用できる環境を整えてまいりたいと考えております。</p> <p>今後も、感染症の状況を注視しつつ、国や県の動向、市の財政面への影響などを踏まえて必要な対応を図ってまいりますので、御理解くださるようお願い申し上げます。</p> <p>（関係課：企画政策課）</p>